

# ilo

いと

人と人、アートでつながる Oita Arts Magazine

iichiko 総合文化センター

Oita International Plaza [おおいた国際交流プラザ]

OPAM [大分県立美術館]

 大分県芸術文化スポーツ振興財団  
Oita Prefecture Arts, Culture and Sports Promotion Foundation

季刊広報誌 2018 WINTER vol.83 Take Free

12 大分県教育委員会 × 大分県芸術文化スポーツ振興財団  
美術館を教育に！

大特集

年頭あいさつ

2019年 大分県芸術文化スポーツ振興財団事業

・古代アンデス文明展

・恐竜展 国立科学博物館コラボミュージアム in OPAM

・松竹大歌舞伎 iichiko presents 大分公演

特集

「につぼん芸術科学祭」レポート

Do you know where this is?  
ここはどこでしょう？

# 2019 大分県芸術文化スポーツ振興財団 事業 主な事業の紹介

## 考古学 古代アンデス文明展 3/8(金)～5/6(月・祝)



南米大陸の太平洋岸に展開したアンデス文明は、地上絵のナスカ、巨石文明のティワナク、南北4,000kmに及ぶ広大な地域を支配したインカなど、数々の個性的な文化を生み出してきた。本展では、アンデスに人類が到達した先史時代から16世紀のスペインによる征服まで、約15,000年にわたって花開いた多彩な文化を、遺物や黄金製品、ミイラなどを含む約200点の貴重な資料で紹介する。

〈黄金製の神像〉モチェ文化(紀元200年頃から750-800年頃) ペルー文化省・国立博物館所蔵

## 伝統工芸 竹工芸名品展 - ニューヨークのアビー・コレクション メトロポリタン美術館所蔵 5/18(土)～6/30(日)



ニューヨーク在住のアビー夫妻が収集してきた明治期の伝統的な花籠から現代の彫刻的作品まで約80点によって、竹の造形の多様な表現と展開を紹介する展覧会。展示作品は、重要無形文化財保持者(人間国宝)6人を含む関東、関西、大分の代表的作家約40人のほとんど未公開の作品。このうち大分県関係は7作家の約10点が展示される。なお本展は、日本を皮切りに世界巡回され、その後、作品はメトロポリタン美術館に収蔵される。

鳥居一孝(香海の湯)2006年 Promised Gift of Diane and Arthur Abbey to The Metropolitan Museum of Art Image © The Metropolitan Museum of Art

## 日本画 歌川派 - 豊春から国芳、広重まで 9/20(金)～10/27(日)



江戸の風俗を写した浮世絵の多彩な魅力と、最大流派の歌川派を軸に概観する展覧会。併せて、開祖の歌川豊春の豊後白村出身説を踏まえながら、遠近法を取り入れた「浮絵」や肉筆美人画など、その革新的な表現技法に迫るとともに、豊春の薫陶を受けた豊国、豊広、広重や国芳、そしてライバルの北斎にいたるまで、幅広い浮世絵師たちの個性的な画風を紹介する。

歌川豊春(観梅図)江戸時代 大分県立美術館所蔵

## アニメ ムーミン展 THE ART AND THE STORY 6/29(土)～9/1(日)



2019年は日本とフィンランドの外交関係樹立100周年にあたり、翌2020年にはムーミン生誕75周年を迎える。この記念すべき年に開催される本展覧会は、これまでの「ムーミン展」の決定版として、各国で出版された「ムーミン物語」の貴重な原画やスケッチ類を幅広く紹介するとともに、画家としての評価も高い作者のトーベ・ヤンソン(1914～2001)の資料も多数展示し、世界中で今なお愛され続けるムーミンの魅力とその背景に迫る。

トーベ・ヤンソン(「ムーミン谷の彗星」挿絵)1946年 インク・紙 ムーミン美術館 © Moomin Characters™

## アニメ 名探偵コナン 科学捜査展 ~真実への推理(アブダクション)~ 9/14(土)～11/10(日)



「名探偵コナン」の世界観をベースに科学捜査の手法を体験しながら事件解決までのプロセスを楽しめる「体験型」展覧会。体験のガイドとなる「探偵手帳」に沿って、現場検証エリア・聞き込みエリア・ラボエリア巡り、事件の真相を解明しよう。

©青山剛昌/小学館・読売テレビ・TMS 1996

## 伝統芸能 松竹大歌舞伎 4/25(木)・昼夜2回



日本が世界に誇る伝統芸能「歌舞伎」を、地元にて鑑賞できる機会。今回は、松本幸四郎 改め 二代目 松本白鶴 襲名披露、市川染五郎 改め 十代目 松本幸四郎 襲名披露のめでたい公演となる。

## ミュージカル 県民創造ミュージカル「第3回 OITA BROADWAY MUSICAL THEATER」



「人を育み、笑顔あふれるミュージカル」をテーマに、6カ月半、数十回の稽古の後、参加者(県民)が有名ブロードウェイミュージカル曲を生演奏で歌って、踊るショー・レビュー形式の公演を開催。2010年から開始した当財団のミュージカル人材育成事業の10年目の集大成として実施する。

## 国際理解情報の発信



本年秋ラグビーワールドカップの試合が県内で開催されることから国際スポーツの紹介を中心に、様々な国や地域の歴史・文化を紹介する「国際理解講座」を充実する。県の国際交流員と交流する「FREE TALK CLASS」を多様に展開する。

## バレエ 県民協働による舞台芸術制作バレエ



2020年2月予定  
おおいた洋舞連盟の研究生たちが、大分県が世界に誇るバレエダンサー首藤康之をはじめ、世界で活躍する一流のソリストとともにバレエの全幕公演を開催。3年前の「ドン・キホーテ」、昨年の「洋舞踊の祭典」から引き継いだレガシーとしての位置付け。指揮者・オーケストラも地元演奏家で構成し、地域文化の振興にも資する。

## オーケストラ iichiko グランシアタ運動会 ~手に汗握る音楽会~ (九州交響楽団大分公演) 9/29(日)



ラグビーワールドカップを文化・芸術面から盛り上げ、支援していく演奏会。テレビや競技場でよく耳にする音楽を、ナビゲーターと指揮者がやりとりをし、わかりやすく楽曲の解説をすることで、クラシック音楽の聴衆拡大に努める。

## 海外連携事業の推進



韓国光州文化財団との交流を継続する。郷土の魅力を感じ自ら学ぶ子ども達を育む、「色」という視点からの地域づくり「地域の色・自分の色」事業を支援するなど海外連携事業を進める。



公益財団法人  
大分県芸術文化スポーツ振興財団  
Oita Prefecture Arts, Culture and Sports Promotion Foundation

新年あけましておめでとうございます。公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団の事業や催し物につきましては、日頃から格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。年頭に当たり、当財団を代表して一言ごあいさつを申し上げます。

さて、私ども公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団は、平成8年2月に財団法人大分県文化振興財団として発足し、平成10年9月から大分県立総合文化センター(iichiko)総合文化センター)の管理運営を行ってまいりました。その後、平成17年4月には財団法人大分スポーツパークおよび財団法人大分国際交流センターと合併。さらに平成25年4月からは公益財団法人に移行し、平成27年4月にオープンした大分県立美術館(OPAM)も一括管理しながら、大分県の芸術文化の拠点として、「出合いと融合、そしてネットワーク」をキーワードに、美術や音楽、演劇、

舞踊など幅広いジャンルの事業に取り組みしております。昨年は、大分県立総合文化センターが開館20年目を迎えるとともに、秋に「第33回国民文化祭・おおい」2018「第18回全国障害者芸術・文化祭おおい大会」が盛大に執り行われ、県下各地で多くの県民の参加のもと、幅広い芸術文化活動が繰り広げられました。当財団においても「にっぽん芸術科学祭」と銘打ち、大型のオペラやミュージカル、国立館の名品展や市町村と連携した美術展示、宇宙や深海に関する科学展示、教育普及活動展示や世界のお茶文化の紹介など、培ってきたネットワークを最大限活用し、これまでの取り組みの集大成となるような多様な事業を展開したところ、大変多くの方々にご参加いただきました。

一方、国においても昨年6月に文化芸術基本法の一部を改正し、「文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野における施策を本法の範囲に取り込むとともに、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創



公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団

理事長 佐藤 禎一

(元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、東京国立博物館名誉館長)

舞踊など幅広いジャンルの事業に取り組みしております。昨年は、大分県立総合文化センターが開館20年目を迎えるとともに、秋に「第33回国民文化祭・おおい」2018「第18回全国障害者芸術・文化祭おおい大会」が盛大に執り行われ、県下各地で多くの県民の参加のもと、幅広い芸術文化活動が繰り広げられました。当財団においても「にっぽん芸術科学祭」と銘打ち、大型のオペラやミュージカル、国立館の名品展や市町村と連携した美術展示、宇宙や深海に関する科学展示、教育普及活動展示や世界のお茶文化の紹介など、培ってきたネットワークを最大限活用し、これまでの取り組みの集大成となるような多様な事業を展開したところ、大変多くの方々にご参加いただきました。

最後に、今年が皆さまにとって幸多き年となりますよう、心からお祈りいたします。最後になりましたが、今年が皆さまにとって幸多き年となりますよう、心からお祈りいたします。今年も、当財団では、引き続き、「出合いと融合、そしてネットワーク」をキーワードに、美術や音楽、演劇などの事業に取り組みしつつ、より多面的かつ学際的な学びの場を提供するよう、「にっぽん芸術科学祭」で開催した「海と宙の未来」展のような芸術文化以外の科学技術や自然科学などの分野の事業にも取り組んでいきます。

2019

年頭あいさつ





## 練習の成果を披露する 大人顔負けの本格オーケストラ



指揮  
下野竜也

地元大分の音楽シーンの活性化を目指し、2009年4月に結成されたジュニアオーケストラ。10回の節目となる本公演は、第1回、第5回の定期演奏会でも指揮をした、広島交響楽団音楽総監督の下野竜也氏を迎え、ビゼー「カルメン」第1組曲・第2組曲やブラームスの交響曲第2番二長調などを演奏します。この日のために練習を重ねてきた74名の子どもたち。真剣なまなざしを取り組む「若き演奏家」たちの大人顔負けの演奏を、ぜひ会場で体感してください。



### Data iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 第10回定期演奏会

2019年**3/30**(土) ▶iichikoグランシアタ **チケット販売中**

【時間】開場13:15/開演14:00※13:30よりアカデミー生によるロビーコンサートを開催 【料金】一般1,000円(友の会びり割引あり)、学生(高校生以下)500円、未就学児無料※ただし3歳以下は入場不可 【出演】指揮:下野竜也、管弦楽:iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 【問】iichiko総合文化センターTel:097-533-4004



## 未来を生きる子どもたちに観せたい 四季ファミリーミュージカルの名作



魔女の小学生マジョリンと人間たちとの心と心の交流を描いた、劇団四季ファミリーミュージカル「魔法をすてたマジョリン」は、1982年に日生名作劇場として初演を迎えて以来、劇団のレパトリーのひとつとして1000回以上も繰り返し上演されてきました。“生きることの素晴らしさ”“友情の大切さ”など人生の中で重要なメッセージが込められており、多くの子どもたちに感動をもたらしてきた、とりわけ人気の高い作品です。このミュージカルは、きっと子どもから大人まで明るい気持ちにさせてくれることでしょう。劇中随所に施された客席芝居やフライング、そしてけれどもある“ぶっ返り”(歌舞伎の引き抜きの手法)を採り入れた演出も見どころです。



写真は前回公演より

撮影者: 荒井健

### Data 劇団四季ファミリーミュージカル「魔法をすてたマジョリン」 第一三共ヘルスケアスペシャル

2019年**2/9**(土) ▶iichikoグランシアタ **チケット販売中**

【時間】開場15:30/開演16:00 【料金】S席4,000円、A席3,000円、B席完売(友の会びり割引全席10%割引)、U25割各半額※U25割(25歳以下)はびり割との併用はありません。※2歳以下のお子様はひざ上鑑賞無料。3歳以上有料。【出演】劇団四季 【問】iichiko総合文化センターTel:097-533-4004



## 高麗屋 襲名披露公演「松竹大歌舞伎」 十代目・松本幸四郎さん スペシャルインタビュー

2018年、歌舞伎界で37年ぶりとなる親子三代同時襲名を果たした高麗屋。来たる4月25日、二代目松本白鶴と十代目松本幸四郎の襲名披露公演が大分で行われます。歌舞伎の名作「菅原伝授手習鑑」と軽快な舞踊が見どころの「奴道成寺」という人気演目に加え、口上もみることが出来る貴重な公演。梅丸丸、白拍子花子を演じる松本幸四郎さんにお話を伺いました。



「新幸四郎としての抱負と、襲名披露公演への思い入れ、演目の見どころを教えてくださいませんか？」  
東京・歌舞伎座で始まって以来、全国各地を襲名披露公演としてまわらせていただき、本当にこんな幸せな時間はないと思っております。責任重たいという大変さがありますが、こうした場をつくってくださる周囲の方々のおかげで、演じることが集中できています。襲名は大きな一歩ですが、幸四郎になるのが目的ではなく、幸四郎に何をやっていくか、ということが大事です。これからの道、気持ちを新たにしております。  
今回の公演は言わずと知れた時代物の名作、「菅原伝授手習鑑」から、緩急ある展開が見どころの「加茂堤」と、勇壮な荒事を始め、歌舞伎らしさを十分に感じていただける「車引」を上演します。私は菅原道真に仕える梅丸丸を演じます。代々江戸の荒事を得意としてきた高麗屋にとっても、自分自身の襲名披露の役柄としても、とても大事な作品です。同時に、非常にハードルが高いものでもあるので、たくさん稽古に励みたいと思っております。「奴道成寺」は、おかげ、大層、ひよこの三つのお面を次々と取り替えるながら演じ分ける舞踊です。長唄と常磐津、二つのジャンルの音楽が入り混じる演奏と併せて、見ているも聞いていても楽しんでいただける演出だと思っております。

「初めて歌舞伎をみる方々へ、鑑賞のアドバイスはありますか？」  
歌舞伎は、お話の筋や所作などを知らなければおもしろいのは事実ですが、それはまあ一旦置いていただき、まずは何かを感じて来ていただければいいと思います。例えば、「車引」で登場する隈取りといったメイクや、「奴道成寺」の賑やかな踊りや音楽、原色の衣裳、舞台上で俳優を補助する黒衣(くろい)の動きに注目するのもおもしろいかもしれません。舞台と映像の違いは、お客さまが自由な視点でみる事ができるところ。難しく考えず、何かを探すつもりで来ていただければ、必ず興味を持っていただけることが繋がっていると思います。  
「大分公演を楽しみにしている方々へメッセージをお願いします。」  
襲名披露という特別な公演を多くの方々に見ていただきたいですね。地方巡業で袴を着て口上を行うことはなかなかないので、そちらも楽しみにしています。1日(昼夜2公演)というわずかな時間ですが、大分のお客さまにあらゆる角度から歌舞伎を楽しんでいただけるように稽古や準備を進めて参ります。また、私自身も時間が許す限り、大分の食や街の雰囲気を楽しみたいと思います。

### Data 松竹大歌舞伎 iichiko presents 大分公演

松本幸四郎改め二代目 松本白鶴 襲名披露  
市川染五郎改め十代目 松本幸四郎 襲名披露

2019年**4/25**(木) ▶iichikoグランシアタ **チケット 2/16(土)発売**

【時間】(昼)開場13:30/開演14:00、(夜)開場18:00/開演18:30 【料金】GS席12,000円、S席10,000円、A席7,000円、B席4,000円、C席2,000円 ※U25割 各席半額  
【演目】一、「口上」二、菅原伝授手習鑑「加茂堤」「車引」三、「奴道成寺」【問】iichiko総合文化センター Tel:097-533-4004



### もっと楽しむための 歌舞伎レクチャー

チケット  
1/19(土)発売

「松竹大歌舞伎 大分公演」の事前レクチャー。講師に元NHKアナウンサーで、古典芸能解説者の葛西聖司さんを迎え、歌舞伎をもっと楽しむためのお話を伺います。

2019年**3/2**(土)  
▶iichiko総合文化センター 地下1階 iichiko Space Be 映像小ホール  
【時間】(午前の部)11:00~12:30/(午後の部)14:00~15:30  
※同一内容 【料金】一般500円、学生無料(但し、25歳以下に限る)  
【問】iichiko総合文化センターTel:097-533-4004

## 今、日本で最も多忙なクアルテット!



©Satoshi Oono

2020年のベートーヴェン生誕250年を記念して2016年度からスタートした弦楽四重奏曲全曲演奏会6回シリーズも、ちょうど3回目の折り返し地点となります。今回のプログラムの第9番「ラズモフスキー第3番」は、ベートーヴェンが傑作を多く生み出した中期の名作。第15番は死の淵から奇蹟的に回復し、第3楽章では「神への感謝の歌」と自筆で記した曲。ベートーヴェンの弦楽四重奏曲の中でも最も違う性質を持ち、様々なエピソードを持つ「人間」ベートーヴェンの二面性を感じることができます。若きクアルテットが表現する、ベートーヴェンの世界にご期待ください。

## BEETHOVEN VERUS STRING QUARTET

### Data iichiko presents ウェールズ弦楽四重奏団 ベートーヴェン 弦楽四重奏曲全曲演奏会【第3幕】

2019年**1/16**(水) ▶iichiko音の泉ホール **チケット販売中**

【時間】開場18:30/開演19:00 【料金】一般 3,000円(友の会びり 2,700円)、U25割 1,500円(25歳以下) 【出演】ウェールズ弦楽四重奏団 【問】iichiko総合文化センター Tel:097-533-4004



iichiko 10/28(日)

総合文化センター20周年事業  
第33回国民文化祭・おおいだ2018  
第18回全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会

グランドオペラ共同制作  
ヴェルディ作曲  
オペラ『アイダ』  
全4幕



iichiko総合文化センターの20周年を祝うにふさわしい、オペラの最高傑作『アイダ』が上演されました。札幌、神奈川、兵庫、大分と全国4カ所を縦断した公演はイタリア・ローマ歌劇場と連携し、各県の劇場と東京二期会、札幌交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団との共同制作。大分公演はその千穂楽でもありました。当劇場2回目の登場となる、世界的指揮者アンドレア・バッティストーニ氏にも期待が高まり、満席の会場には、この日を楽しみにしていたという和服の女性などおしゃれを楽しむ観客や、小さな子どもの姿も見られました。『アイダ』では第2・4幕でバンド(オーケストラとは別の場所で演奏するアンサンブル)が活躍します。公演があった4会場それぞれ、地元の方に演奏していただくということで、大分では大分県立芸術文化短期大学に依頼。あまり時間がない中、清水万敬教授(ホルン)ご指導のもと音楽科の学生17名が参加し、大分県立芸術短期大学(当時)出身の偉大な先輩である木下美穂子さん(アイダ役)との共演となりました。参加した学生は「第一線で活躍されているプロの方々との共演は初めてで、多くのことを学ばせていただきました。また、出演者をはじめ、舞台や衣裳などスタッフの方々のおかげでオペラが作り上げられている現場に携われ、貴重な体験でした」と語りました(写真左上:舞台袖での前日リハーサルの様子)。オーケストラとは異なる、舞台の上手袖という観客から見えないところでの演奏だったので、最後のカーテンコールで出てきて驚いた方も多かったと思います。終演後は、鳴りやまない拍手に別れを惜しむかのように、何度も何度もカーテンコールが行われました。



OPAM 11/2(金)～25(日)

国宝、日本の美をめぐる  
東京国立博物館名品展

縄文時代から江戸時代まで、国宝、国指定重要文化財を含む44件もの名品を一堂に展示した、「おおいだ大茶会」の目玉といえる企画展。内覧会で東京国立博物館の田沢裕賀学芸研究部部長が、「大分の学芸員が集めてきたところが見どころです」と話したように、東京国立博物館の所蔵品の中からOPAMの担当学芸員がセレクトした、縄文土器から伊藤若冲、葛飾北斎の絵画まで、各時代を代表する貴重な文化財の数々が、3つの章に分かれて展示されました。田能村竹田など大分県ゆかりの作品も並び、大分の文化の豊かさを示していました。

関連事業

11/2(金)  
トークイベント  
「日本の美 —その歴史をめぐる—」  
講師:田沢裕賀氏(東京国立博物館 学芸研究部部長)

11/3(土・祝)・10(土)・17(土)・23(金・祝)・24(土)  
ギャラリートーク



iichiko 10/31(水)・11/1(木)

「OASISひろば21」開館20周年記念事業  
第33回国民文化祭・おおいだ2018  
第18回全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会

ミュージカル  
「マイ・フェア・レディ」  
大分公演(全国大千穂楽)

時代を超えて愛される不朽の名作「マイ・フェア・レディ」が、日本初演55周年の今年、朝夏まなとと神田沙也加という新しいプリンセスを迎え、上演されました。クラシカルな英国の香りと華やかさはそのままに、個性豊かな登場人物たちの生き生きとした情感がより際立つ舞台として好評を博したりボン(再誕生)版で、観客からは「キャスト同士の仲の良さが伝わってくる」「とにかくイライザが可愛い!!」などの声。特に11月1日の公演は全国大千穂楽ということもあり、宝塚歌劇団を退団後、初の女性役を演じた朝夏さんのファンが全国から押し寄せ、カーテンコールでは観客全員がスタンディングオベーション!朝夏さんが「今日までであったという間で、イライザが成長する姿に私も勇気づけられました。皆さんの心に残ったらいいなと思います」と語り、ヒギンス教授役の寺脇康文さんから「大分最高!!」の言葉も飛び出しました。

関連企画 7/15(日)～11/1(木)

ミュージカル「マイ・フェア・レディ」特別体験ワークショップ



11月1日の公演前には、本物のセットと生オーケストラで同作のナンバーを歌って踊る特別体験ワークショップの発表が行われました。募集開始からわずか40分で定員に達したこの人気企画には、小学生から70歳まで110名が参加。7月から本公演の振付、歌唱スタッフから指導を受け、この日のために練習を重ねました。ステージでは、参加者がお揃いのTシャツに身を包み、「教会へは遅れずに」を歌いながら、息の合ったダンスを披露。全員のパフォーマンスが会場を熱く包み込み、観客ほか、客席に駆け付けた本公演のキャスト陣からも盛大な拍手が送られました。

OPAM 9/28(金)～10/21(日)

日本モダンの精華  
京都国立近代美術館コレクション

京都国立近代美術館全面協力のもと、近現代の日本画、洋画、工芸の名品58点を紹介しました。なかでも白杵市出身の実業家・故 首藤定氏旧蔵の「首藤コレクション」の中から選ばれた、19点にも及ぶ福田平八郎(大分市出身)の作品は庄巻で、内覧会では、「花菖蒲」や「竹」など大分に馴染みのある日本画家の代表作に見入っていました。開会式で柳原正樹京都国立近代美術館長が、「通常は5～6点の貸し出しのところ、常設が手薄になるほど惜しげもなく持ってきました」と語っただけあり、日本の近現代美術の歩みが垣間見える、見応えのある企画展となりました。

関連事業

9/28(金)  
トークイベント「美術四方山話」  
講師:柳原正樹氏(京都国立近代美術館長)

9/28(金)・10/13(土)・20(土)  
ギャラリートーク



昨秋「第33回国民文化祭 おおいだ2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいだ2018」第33回国民文化祭おおいだ2018」第18回全国障害者芸術・文化祭おおいだ2018」活動が盛り上げられました。当財団においても「にっぽん芸術科学祭」と銘打ち、大型のオペラやミュージカル、国立館の名品展や市町村と連携した美術展示、宇宙や深海に関する科学展示、教育普及活動展示や海外のお茶文化の紹介など、培ってきたネットワークを最大限活用し、これまでの取り組みの集大成となるような多様な事業を展開。過去、現在、未来へと継承される我が国の芸術文化と科学技術の魅力を幅広く紹介しました。会期中には、大変多くの方々にご参加いただきました。



OPAM 10/2(火)～11/25(日)

## MEGASTAR (スーパープラネタリアム) -138億光年の彼方へ-

世界で初めて、天の川を一粒一粒の星の集まりとして正確に表現した移動型光学式プラネタリアムシリーズ「MEGASTAR(スーパープラネタリアム)」。プラネタリアム・クリエイター、大平貴之氏の個人開発によって生み出されたこの「MEGASTAR」シリーズの中でも、2200万個もの恒星を映し出すことができる「SUPER MEGASTAR-II」が、「海と宙の未来」展との同時開催イベントとして大分に初上陸しました。会場となった3階展示室Bで、大平氏のナレーションに合わせて30秒目を閉じ、目を開くと、そこには無数の星空が。1等星から13等星までの恒星や星雲、星団、銀河など、肉眼では見分けることができない微細な星が忠実に再現されており、荘厳な星空や美しいオーロラを、イスや床のクッションに座ったり、寝そべて見上げていると、まるで本物の星空の下にいるような錯覚に陥ります。最先端スペースエンジン(宇宙シミュレーションソフト)によって138億光年離れた宇宙の果てまで旅しながら、宇宙の神秘や広大さを知ることができました。開幕からわずか18日で入場者数が1万人を突破し、最終的には3万人を突破するなど、予想をはるかに上回るほど注目を集めました。

OPAM 10/2(火)～11/25(日)

## 「海と宙の未来」展

OPAM初となる科学系企画「海と宙の未来」展。深海と宇宙をテーマに、JAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)とJAMSTEC(国立研究開発法人海洋研究開発機構)が初めてコラボレーションするという、「エポックメイキング」なイベントとなりました。「未知への挑戦～夢を追う人々～」をテーマに、1階アトリウムには歴代ロケットの模型や、日本初の純国産大型ロケット「H-IIロケット」の「LE-7」エンジンの実物、潜水調査船「しんかい6500」、海底資源を探る自立型無人探査機「ゆめいるか」の大型模型などがずらりと並び、いつものOPAMとは違った空間が出現。3階コレクション展示室には、2010年に奇跡の帰還が話題となった小惑星探査機「はやぶさ」の実物大カプセルの模型や、「しんかい6500」が撮影した映像、小惑星「リュウグウ」を探査中の「はやぶさ2」が撮影した最新画像なども紹介しました。期間中は関連事業も多数催され、10月4日にはアバター遠隔教育実証事業として、遠方の小学校とOPAMをウェブで繋ぎ、小学生が遠隔操作ロボット「Beam Pro」を使って展示物を見学する遠隔学習も開催。画面を通してアトリウム内を自由に見学し、積極的に質問を行っていました。



OPAM 10/2(火)～11/25(日)

## おおいた美術散歩 OPAM & 豊の国

大分県内を5つのブロックに分けてそれぞれの特徴を表すテーマを設け、様々な芸術文化の取り組みが行われた国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭。この企画展でも各ブロックの特色ある美術資料を紹介し、日本を代表する県出身作家らによる絵画や彫刻、工芸などの名品42点を展示しました。県の購入が決定した大分市出身の福田平八郎の代表作《新雪》や、同市出身の高山辰雄が春日浦で過ごした思い出の風景を描いた《遙かな濱邊》などの日本画から、作者不詳の県指定文化財《天福寺木造菩薩立像》や《鍍絵 鯛廻し恵比寿》、《小鹿田古作品 醤油捨口》などの工芸作品まで、「おおいたの美術」の多様さと層の厚さに来場者は見入っていました。



OPAM 10/12(金)～14(日)

## 有人潜水調査船しんかい6500、 支援母船よこすか見学会

国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)の有人潜水調査船「しんかい6500」を搭載した支援母船「よこすか」が別府国際観光港に寄港し、見学会を開催しました。10月12日は入港式典とともに、別府市内の高校生・小学生の特別観覧等を行い、13・14日は友の会会員と一般向けに見学会を行いました。「しんかい6500」の現役パイロットやよこすか乗組員の方々から機体や深海に関する解説を受けながら見学する貴重な機会となりました。当日はOPAMやうみたまご、別府公園をシャトルバスで結ぶなどし、3日間合計で6,500名を超える来場があり、大変賑わいました。



OPAM 10/11(木)

## JAMSTEC(海洋研究開発機構) 高井研博士講演会 「大分から世界の、宇宙の海へ漕ぎ出そう。 “ワンピース”を求めて」

別府市内の高校生900名が招待され、「なぜ勉強をしないといけないのか」など「学校では教えてもらえないこと」から講演がスタート。現在は土星の衛星にある海に探査機を送るプロジェクトを計画していて、「探査とは知りたいと思う生命本能。そして冒険心、好奇心、虚栄心、欲張り。これこそが『ワンピース』。大きな秘宝だ!」と語りました。高井さんの研究や発見の役立ちについての質問に、「直接役には立たないが、今日の話面白い!と思ってくれたら役割が果たしている。誰かの好奇心が次の誰かの好奇心につながるがいい!」と答えました。



OPAM 10/16(火)

## JAXA(宇宙航空研究開発機構) 油井亀美也宇宙飛行士講演会 「未知への挑戦」

iichikoグランシアタで行われた講演会には、地元の中学・高校・高等専門学校生が会場に招かれたほか、県内の小学校～高校、特別支援学校にも講演会の様子が配信されました。約330倍の倍率の難関を突破し、航空自衛隊員から念願の宇宙飛行士になったという油井亀美也さん。「2～3か月に一度、大分空港で離着陸など訓練をしている」という言葉に、油井さんとの距離が一気に縮まりました。講演後には多くの質問の手が上がり、油井さん自ら質問者の元まで行って、直接話ができるというサプライズも。参加者の関心の高さが伺えました。

## 学校ワークショップ(アウトリーチ)

開館当初から力を入れている活動のひとつに学校への「アウトリーチ」があります。これは、幼稚園～高校まで県内各地の学校を美術館のスタッフが訪れ、アートに関するレクチャーやワークショップを行う、美術館の出張授業です。今年は国文祭期間中、

さらに24校を訪問し、約1,000人が絵の具や布に触れて楽しむワークショップを体験しました。これからは、子どもたちがワクワクするような美術体験を県内各地に届けたいと思っています。

●印は、2018年4月～11月末日に訪問した学校・園



大分県教育委員会

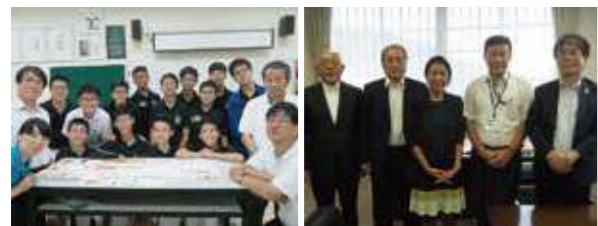
大分県芸術文化スポーツ振興財団

## 美術館を教育に!

大分県芸術文化スポーツ振興財団では、大分県教育委員会と連携して、美術館を教育に活用する取り組みを、文化庁、文科省、「地域の色・自分の色」実行委員会等の関係機関からの助成、助言、協力によりすすめています。

## シンガポール×姫島

姫島村とOPAMは県教育委員会、財団、大学等で構成される「地域の色・自分の色」実行委員会の協力により、小・中学生を対象に、「色」をテーマにした美術の授業を行ってきました。姫島で採れる石や土などで絵の具を作ったり、色を探ることで島の歴史や成り立ちを学んだり。美術に留まらない、色をテーマにした総合学習は世界的にも珍しく、シンガポールにも注目され、国際的な取り組みが始まっています。



シンガポール・ラッフルズ校でのワークショップ

シンガポール・ラッフルズ校から派遣された教員(中央)

## 国文祭 学校団体観覧

～11/22(木)

今年は、国民文化祭で、JAXAやJAMSTECなど国内の最先端の科学技術で作られた本物の機器や、最高峰の文化財が大分に集まりました。そこで、教育委員会と、(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団(大分県立美術館)はコラボレーションし、県内各地の学校を授業の一環として国民文化祭財団特別企画へ



招待しました。総観覧数は13,333人にも。なかには美術館に来るのが初めてという生徒もいましたが、皆自由な発想で鑑賞を楽しんでいました。

## 別府展 宇佐展 由布展

9/19(水)～28(金) 10/31(水) 11/15(木)～19(月)

毎年行っている活動のなかに、学校が1日限定の美術館になる「スクールミュージアム」、地域の美術館や文化施設とOPAMがコラボレーションする「地域美術館体験講座」、幼稚園や保育園の子どもたちがアートに触れる「子ども美術館」があります。どれも市町村教育委員会と連携し、別府展1,132人、宇佐展



251人、由布展547人が来場するなど、中学生や就学前の子ども、地域の方などが芸術を楽しみました。

## 特別講師による講演会

昨年スクールミュージアムを開催した安岐中学校では、「食と色彩」をテーマにOPAMが所蔵する福田平八郎の食べ物の絵を集め、描かれた食べ物を色の視点から鑑賞しました。この取り組みが地元や国で評価され、「食と色彩」をテーマにした学習を大分大学と一緒に科研費により続けることに。九州国立博物館の島谷館長による講演会も開かれ、東京国立博物館佐藤名誉館長、銭谷館長らも視察に訪れるなど全国的にも注目を集めています。



(前左より)佐藤名誉館長、島谷館長、銭谷館長 国東市立安岐中学校校長室にて

iichiko 11/4(日)

第33回国民文化祭・おおいた2018協賛 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

## オーケストラと合唱の祭典

青少年の部では、iichikoとアルカス佐世保のジュニアオーケストラ、総勢129名、大分市内の中学生193名の合唱隊が登場。1曲目の「大地讃頌」から、力強く美しい競演で観客の心を鷲掴みにしました。その後はオーケストラが3曲を演奏、続く一般の部では、合唱は179名、全国各地から集まったオーケストラは43団体、約170名に。圧巻の人数で披露されたのは、グスタフ・マーラーの「復活」です。楽器と声が見事に響き合いながら、フィナーレに向けステージの熱気も次第に高まり、観客もその迫力に引き込まれました。演奏者も合唱者も、客席も一体となって作り上げる、まさに「祭典」と呼ぶにふさわしいコンサートとなりました。



OPAM 9/28(金)～11/25(日)

## 教育普及グループ活動展示 びじゅつって、すげえ! 2014-2018~この4年の進化と深化

大分県立美術館の教育普及グループが開館前の準備室時代から行ってきた、アウトリーチ、ワークショップ、レクチャー、スクールプログラムなどの活動を紹介します。会場となった2階アトリエ・体験学習室には、4年半にわたる活動の様子を記録した写真や映像、実際に作った作品、教材ボックス、告知用フライヤーなどが並べられたほか、2階通路には、学校連携活動の様子も飾られました。参加した子どもから大人までみんなが「びじゅつって、すげえ!」と語りかけているような、イキイキとした表情やまなざしが取められた写真から、活動に対する楽しさが伝わってきました。



iichiko 10/27(土)・28(日)

第33回国民文化祭・おおいた2018協賛

## 世界の大茶会

10の国と地域の交流団体や関係者、協力店舗が出店し、本場のお茶の提供とスイーツや特産品の販売を行いました。センターテーブルでの実演では、茶葉や茶器の説明やお茶の淹れ方、作法などもレクチャー。参加者も世界のお茶に興味津々で、「どんな時にこのお茶を飲むのですか?」などと質問し、交流を深めていました。お茶のなかには磚茶(だんちゃ)を煮出し、牛乳やラクダ乳などの乳とモンゴル岩塩を加えて作る、モンゴルの日常的な飲み物「スーティー茶」など珍しいものもあり、初めての味わいにびっくりするなど、場内は大賑わいでした。



## OITA HALL NAVI

おおいたホールナビ 大分県公立文化施設協議会加盟館が主催する舞台芸術公演情報

1/26(土) [開演] 17:00

米倉利紀 デビュー25周年記念公演 "besties"-encore shows 2019 [出]米倉利紀 [料]全席指定7,560円 [所]ビーコンプラザ フィルハーモニアホール [問]GAKUONユニティフェイス ☎0985-20-7111 [平日 10:00～19:00]

2/23(土) [開演] 14:30

ぶんごおおの MUSIC FESTA 2019 [出]BLACK BOTTOM BRASS BAND ほか [料]一般1,000円、高校生以下500円 ※当日各200円増 [所]豊後大野市総合文化センター 大ホール [問]☎0974-22-8000

2/23(土) [開演] 18:30

宝のまち・豊後FUNAI芸術祭事業 クレオール・ニッポン 松田美緒コンサート [出]松田美緒 [料]一般2,000円、小中学生500円 ※当日各500円増 [所]J:COM ホルトホール大分 1階 小ホール [問]☎097-551-5511

2/24(日) [開演] 17:30

森高千里 「この街」TOUR2019 [出]森高千里 [料]8,640円 [所]パトリア日田 大ホール(やまびこ) [問]☎0973-25-5000

3/17(日) [開演] 15:00

日田市市民ミュージカル 「あの青空の向こう ～絆の章～」 [料]一般1,500円、高校生以下1,000円、指定券500円 [所]パトリア日田 大ホール(やまびこ) [問]☎0973-25-5000

3/24(日) [開演] 14:00

開館五周年記念公演 イーハトーボの劇列車 [出]作:井上ひさし、演出:長塚圭史、主演:松田龍平 [料]A席7,000円、B席6,000円、C席5,000円、学生割引3,500円 [所]J:COM ホルトホール大分 1階 大ホール [問]☎097-576-8877

10/27(土) Free Talk Class 特別版(おおいたワールドフェスタ2018協賛事業)

韓国・中国・オーストラリア出身の大分県国際交流員と交流する「Free Talk Class 特別版」を開催しました。定期開催しているFree Talk Classと異なり、参加申込をせずに自由に入退場でき、「平日だと参加できないけれど、少し気になって」と短時間の参加や3つの言語に少しずつ参加するなど、いつもと違う雰囲気の中行われました。折り紙を使用した文化交流や、様々なゲームを各言語に分かれて行ったあと、参加者は折り紙で作成した作品を記念に持ち帰っていました。



プラザ登録 通訳・翻訳・日本語ボランティア募集!!



おおいた国際交流プラザでは、国際人材を募集しています。

- ・せっかくの語学スキルを活かしたい
  - ・国際交流したい
  - ・ボランティアに興味がある...など
- まずはお気軽にお問合せください。

現在13言語(のべ87名)の通訳・翻訳ボランティア、39名の日本語ボランティア、5名の学生ボランティアが登録しています。

活躍の場所はこんなところ...

- ・災害時対応(講座を開催予定)・ボランティアが講師をする講座
- ・プロではなく、ボランティアが対応することが適当と判断される依頼他にも、やってみたいことがあれば、相談してください。

EVENT SCHEDULE

2019年1月~3月のイベントと無料相談

無料相談

●在住外国人のための無料相談

毎月第1日曜(ライフサポート主催) 13:00-16:00

2/3(日)、3/3(日) ※1月は開催なし

※日本語・英語以外の方は2日前までの予約制

毎月第3水曜

13:00-16:00

1/16(水)、2/20(水)、3/20(水)

※日本語・英語以外の方は2日前までの予約制

●タガログ語無料相談

毎月第1土曜、第3火曜 13:00-16:00

1/12(土)・22(火)、2/2(土)・19(火)、

3/2(土)・19(火)

1/5・15はお休みします。

●中国語無料相談

毎週木曜 10:00-13:00

1/10(木)・17(木)・31(木)、

2/7(木)・14(木)・21(木)・28(木)、

3/7(木)・14(木)・28(木)

1/24と3/21はお休みします。

※各無料相談日については変更になることがあります。

1/13(日) 11:00~12:00、13:00~14:00

国際理解講座(共催) ニュージーランド編

別府市 ゆめタウン別府 1F

ゆめ広場(「別府ラグビーフェア2019」会場)

おおいた国際交流プラザ ☎097-533-4021

※日時等に変更になる場合があります。

3/9(土) 10:00~16:00

外国語図書無料配布

iichiko総合文化センター地下1F

おおいた国際交流プラザ

おおいた国際交流プラザ ☎097-533-4021

**外国語図書の寄贈についてのお願い**

処分に困っている外国語図書がありましたら、ぜひおおいた国際交流プラザにお持ちください。図書事業(本の閲覧貸出や、3月実施予定の外国語図書無料配布)に活用させていただきます。 ※郵送でも受け取り可能ですが、着払いでの受け取りはご遠慮下さい。

**●寄贈された外国語図書について**

- 引越いや本の整理などで... → おおいた国際交流プラザに寄贈する
- 不要な本が見つかったら(外国語図書) → おおいた国際交流プラザに寄贈する
- リサイクルショップで売る → おおいた国際交流プラザに寄贈する
- ゴミとして捨てる → おおいた国際交流プラザに寄贈する
- 図書事業に使用する → おおいた国際交流プラザに寄贈する
- 無料配布する → おおいた国際交流プラザに寄贈する

年間50冊ほどの貸出  
昨年、235冊配布しました



JICAデスク 大分だより

大分市とJICA九州では、10月6日の「国際協力の日」に関連して、10月を「おおいた国際協力啓発月間」と定めています。国際協力・国際交流を身近に感じてもらうことを目的とします。10月27日コンパルホールにて、メインイベントである「おおいたワールドフェスタ2018」が開催されました。世界の料理とお茶が楽しめるブースや、世界を旅するスタンブラリー(韓国、マレーシア、インドネシア、バングラデシュ、ウズベキスタン)、講演、スピーチコンテスト、ワークショップ、ダンス、ファッションショーなど、様々なプログラムで構成されました。アフリカでネリカミの普及に従事されたJICA専門家の報告や、青年海外協力隊経験者によるブース、民族衣装体験コーナーの出展もありました。世界の国々の文化に触れ、身近に感じて頂けたのではないのでしょうか。来年度も開催される予定ですので、ぜひご参加下さい。



イベント情報

JICAボランティア 説明会キャラバン

2/9(土) 11:00~13:30、14:30~17:00(予定)

全労災ソレイユ(大分県労働福祉会館)水仙

青年海外協力隊、シニア海外ボランティアの説明会です。直接ボランティア経験者の話を聞き、質問もできます。疑問や不安等、個別の相談にもお答えします。ご興味のある方はぜひご参加下さい。(※予約が必要です) <https://www.jica.go.jp/volunteer/seminar/place/>

おおいた国際交流プラザとは?

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく」多文化共生社会の実現に向け、様々な講座やイベントを開催しています。



oita International Plaza News

おおいた国際交流プラザニュース

News 03

開催場所: iichiko総合文化センター 映像小ホール

8/11(土・祝)国際理解講座③ ウルグアイ編

来年10月に開催されるラグビーワールドカップ2019の県内対戦国で、大分市が公認キャンプ地となったことから開催されたウルグアイ編。駐日ウルグアイ東方共和国大使館 一等書記官兼領事のフェルナンド・ペレダさんより歴史や経済についての紹介を、またウルグアイ滞在経験を持つ吉野皇さんよりウルグアイでの生活文化や自身の数度にわたる滞在記を、体験者ならではの目線で紹介されました。聴講者からは、ラグビーチームや食文化に関する質問なども活発に出ました。



News 04

開催場所: 大分県立美術館(OPAM) 2F研修室

9/22(土)国際理解講座④ モンゴル編

モンゴルの仏教美術家・チンゾルグさんの来県に伴い、今回は「モンゴル美術ワークショップ」をテーマとし、同国出身のオウトウルガさん(日本学術振興会 外国人特別研究員)と二人で、モンゴル国やモンゴル美術について紹介しました。ワークショップでは、チンゾルグさんが準備した絵画に各自が思い思いの色を塗って一つの大きな作品に仕上げ、会場は終始和やかな雰囲気笑顔に包まれていました。



News 05

開催場所: iichiko総合文化センター 映像小ホール

10/21(日)国際理解講座⑤ オーストラリア編

ラグビーワールドカップの前大会(2015年)準優勝国の強豪、オーストラリアに焦点を当てた講座。講師に迎えた在福岡オーストラリア総領事館 商務官の松本文仁さんは、オーストラリアでの職場や留学時の経験を、大分県国際交流員のシンラン・シエさんは、オーストラリア出身者の視点で生活と文化に関する多様性をそれぞれ講義しました。アメリカ英語・イギリス英語とオーストラリア英語の微妙な違いの話には、参加者は皆興味深げに聴き入っていました。



News 01

開催場所: iichiko総合文化センター 県民ギャラリー・アトリウムプラザ

6/19(火)国際理解講座① マチュピチュ編

東京大学名誉教授の大貫良夫さんと日本マチュピチュ協会長の野内セサル良郎さん、放送大学特任教授の稲村哲也さんによるシンポジウムが行われました。長年発掘調査に携わり、土地を買って実際に住むほど魅せられた大貫さんがアンデス文明の地理的特徴や飼育、栽培していた動植物、装飾品などを紹介し、「まだまだアンデスは面白い!」と目を輝かせていたのが印象的でした。野内さんの祖先で、福島からマチュピチュ集落へ定住して村の発展のために尽力し、初代村長に任命された野内与吉さんの偉業も紹介されました。講演後は1階アトリウムプラザにてペルー民族音楽演奏家、パロミノ・ママニ・イルデフォンソさんによるミニコンサートも行われ、参加者は先ほどまで見聞きたマチュピチュの風景に思いを馳せていました。



News 02

開催場所: iichiko総合文化センター 映像小ホール

7/21(土)国際理解講座② アメリカ編

アメリカ・アーカンソー州出身のシェリダン・ミキシクさん(大分県国際交流員)を講師に迎えた国際理解講座。「100人に聞きました」クイズやYouTube動画、さらには彼女お手製のアメリカのパン・コーンブレッドを皆で楽しみながら、アーカンソー州の歴史や文化を学びました。講師が8月に帰国したことから、大分県でのフェアウェルイベントになりました。





／ビビッと豊かなライフスタイル／  
びび的ライフスタイルのススメ



TAKASAGO

ミュージアムショップで買った  
がま口がお気に入りです

塚 絵理さん 33歳(大分市在住)  
メンバーステージ/TAKASAGO

ミュージカル『マイ・フェア・レディ』が観たくて、今年の8月に入会しました。一緒に行く友達と**2名分のチケットが15%割引で購入**できました!以前から「びび」のことは知っていましたが、実際に使っていると結構お得ですね。**特典として駐車場の1時間無料券が10枚もらえる**のですが、来館する機会が多いので、もうすでに4~5枚は利用しました。OPAMの**コレクション展の入場が無料**になることを知らなくて!気に入った展示だと2回は観に行きます。早く入会しておけば良かったなと思いました(笑)。あと、プレゼントを購入するためにミュージアムショップをよく利用するので、**オリジナル商品の割引**はありがたいですね。まだ「びびSHOP」を利用したことがないのですが、冊子を見たら、**たまに利用するお店が割引対象**になっていてびっくりしました。常に携帯してとんとん使いたいですね。ホント、もっと早くびび会員になっておけば良かったです!!



◀ 塚さんの手帳には、チケットの半券や切り抜き、感想など『マイ・フェア・レディ』観劇の記録がぎっしりと!  
▶ 企画展「人間・高山辰雄展」で、一番気に入ったブロンズ像。



高山辰雄《作品-1》1970年頃(個人蔵)

このコーナーに出てください  
びびメンバーを募集しています。  
.....  
—申し込み先—  
☎097-533-4025  
もしくはメール  
bivi@opam.jpにて

大分県芸術文化友の会



／特典がいっぱい!／

びびメンバー大募集!

びびとは、大分県立美術館(OPAM)とiichiko総合文化センターを中心に、大分県の芸術・文化を多くの皆さんに楽しんでもらうメンバーシップです。

●メンバーステージと年会費

法人	KOTOBUKI	TAKASAGO	UME	MEJIRO
50,000円(1口)	10,000円	5,000円	2,500円	無料

※メンバー期間は入会日または更新日から1年経過した日の属する月の月末までです。  
◎入会は随時受け付けています。◎メンバーズカードは、会費の納入を確認後、1~2週間後に郵送いたします。いったん納められた会費の払い戻しはいたしません。◎特典内容はメンバーステージによって異なります。◎メンバーズカードは有料会員にのみ発行します。

●有料会員特典内容の一例

特典	内容
特典1	先行予約ができる
特典2	チケット割引がある
特典3	鑑賞割引がある
特典4	駐車場券進呈
特典5	各種サービスがある

OPAMいつ観ても  
何回観ても無料!!(一部除く)

メルマガ会員  
大募集!!

**MEJIROステージは  
年会費無料&無期限**  
会報誌などでは伝えきれない、  
タイムリーな情報をメルマガでお届けします。

友の会びびの  
お申込みは  
コチラから▶



友の会びび  
個人有料会員期限内更新特典

友の会びびの個人有料会員様が有効期限内にご更新いただいた際に、以下の特別割引会費(10%OFF)を適用♪

KOTOBUKI	10,000円 ▶ 9,000円
TAKASAGO	5,000円 ▶ 4,500円
UME	2,500円 ▶ 2,250円

※更新日=会費ご入金日となりますので、ご注意ください。

●問合せ・申込先  
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団  
大分県芸術文化友の会 びび

〒870-0029 大分市高砂町2-33 E-mail bivi@opam.jp  
tel.097-533-4025 / fax.097-533-4050

申込方法等の詳細はHPへ。 びび友の会   
http://www.opam.jp/bivi

今回の表紙の写真は…  
マルセル・ワンドース  
《ユーラシアン・ガーデン・スピリット》でした。  
大分県立美術館に入るとすぐに迎えてくれる大きな卵型のパルーン。手で押ししたり、写真を撮ったり、ご来館者が思い思いに触れ合うことのできるアート作品です。オランダ人デザイナー、マルセル・ワンドースが日蘭交流の歴史に思いを寄せ、豪華な花柄も離れて見るとドクロに見えるなど、デザインに工夫を凝らした作品です。